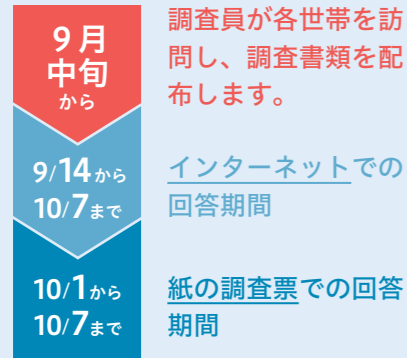


すぐわかる 令和2年国勢調査 調査方法・項目

国勢調査は、統計法に基づき、国籍や年齢に関係なく、日本に住んでいる全ての人を対象です。調査の流れや項目を確認しましょう。

● 調査の流れ



● 調査の項目

- ①世帯員に関する事項（15項目）
氏名、男女の別、出生の年月、世帯主との続柄、配偶の関係、国勢、現在の居住期間、5年前の住居の所在地、在学・卒業など教育の状況、就業状態、所属の事業所の名称および事業の種類、従業上の地位、従業地または通学地、従業地または通学地までの利用交通手段
- ②世帯に関する事項（4項目）
世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方



総務省統計局では、国勢調査100年の節目を迎えるにあたり、これまでの歴史をまとめた「国勢調査100年のあゆみ」を刊行しました。



国勢調査が導入されるまでの物語や、過去の調査票から読み解く時代背景など、講談調でテンポ良く、分かりやすくまとめられています。QRコードからご覧ください。

桑折町の未来のために

もしも国勢調査に回答しなかったら、日本はどうなってしまうのでしょうか。

国勢調査は、行政上の各種政策のほかにも、一般企業におけるマーケティングや出店計画、また、研究機関の人口学や地理学、社会学などの学術研究にも、重要な判断材料として幅広く活用されています。

一人一人が正確に回答せず、回答数が少ないと、状況を正しく把握・分析できず、私たちの暮らしに関わる大切な政策や計画などに、社会の実情が反映できなくなります。

日本の「いま」を知り、「未来」をつくる国勢調査。私たちの生活をより良くし、未来の道しるべとなる、国民の共有財産です。国勢調査の意味を理解して、みんなが調査に参加して、より良い日本の未来をつくっていきましょう。

開始100年目の国勢調査、はじまります。

5年に1度の日本で最も重要な統計調査「国勢調査」が、10月1日現在で実施されます。生活環境の改善や防災計画など、私たちの生活に欠かせないさまざまな施策に役立てられる大切な調査です。より良い未来をつくるため、必ず回答しましょう。

国勢調査は未来の道しるべ 5年に1度の大切な調査です

100年のあゆみ

「我が国が一等国になるためには、政府が国民のことを把握していなければなりません」。明治4年、太政官正院の役人、杉享仁氏の言葉が国勢調査の始まりのきっかけでした。しかし、実現までの道のりは平坦なものではありません。統計への理解の浸透、法律の制定、予算の確保など、課題は山積み。当時内閣総理大臣であった大隈重信や原敬らの働きかけにより、杉氏の発言から約50年経った大正9年、ようやく第1回国勢調査が実施されました。

大正11年に法律が改定され、5年に1度の実施となり、国勢調査は確実に定着していきました。昭和4年には、世界恐慌による失業問題への対策に、戦時中は、物資の配給や人員の動員に調査の結果が用いられました。

国勢調査の結果は、地方交付税の算定や防災計画、都市計画など、多様な場面で利用されています。私たちの身近な場面では、例えば、子どもの増減数をもとに、地域に必要な子育て施策を打ち出したり、通勤や通学で町へ出入りする人口の流れをもとに、住宅・商業施設の建設計画などを作ったりしています。調査結果は、社会の変化に合った未来をつくるため、国や地方公共団体のさまざまな政策に役立てられています。

国勢調査をもっと身近に

国勢調査の結果は、地方交付税の算定や防災計画、都市計画など、多様な場面で利用されています。私たちの身近な場面では、例えば、子どもの増減数をもとに、地域に必要な子育て施策を打ち出したり、通勤や通学で町へ出入りする人口の流れをもとに、住宅・商業施設の建設計画などを作ったりしています。調査結果は、社会の変化に合った未来をつくるため、国や地方公共団体のさまざまな政策に役立てられています。

interview / 統計調査員として



9月中旬から各世帯を訪問します

国勢調査員 渡邊 俊行さん

平成26年から町の統計調査員を務め、国勢調査を担当するのは2度目になります。桑折町の皆さんは、調査に協力的な人が多く、ありがたく思っています。今年からは9月中旬ごろから、私たち調査員が各世帯を訪問します。腕章と調査員証を身につけた調査員が訪れた際は、調査書類の受け取りをお願いします。

調査票に記入する際は、必ず鉛筆を使って、各項目記入漏れのないように注意してください。また、今年は、新型コロナウイルスの感染防止のため、調査員が再訪問する必要のない、インターネットと郵送での回答を促進しています。皆さんの安全・安心のためにも、できる限りご協力をお願いします。

column / オンライン調査

オンライン調査での回答が便利です

前回実施した平成27年の調査から、調査世帯がより便利に回答できるように、全国でインターネット回答が導入されました。桑折町は、インターネット回答率が36.2%と、県内市町村の中で3番目の高さとなりました。インターネット回答は、10分程度で、パソコンやスマートフォンからいつでも回答することができます。入力内容のチェック機能があるので、記載漏れの心配や回答後の調査員の訪問もありません。ぜひインターネット回答もご利用ください。

● 平成27年国勢調査インターネット回答率

